

実習って？





「実習」は必ず行かなくては
いけないのでしょうか？



はい、免許と資格を取るために必要です。実習には、幼稚園教諭二種免許状のための「教育実習」と保育士資格のための「保育実習」があります。どの保育者養成校でも「教育実習」では計4週間の実習が必要ですが、本学科はその4週間を続けて行うことが特徴です。およそ1か月の間、同じ園で子どもたちの成長を見つめることができ、複数回に分けての実習では得られない深い経験ができます。

「保育実習」は「1A」「1B」「2」の3回（各2週間程度）あります。「1A」「2」が保育所での実習、「1B」は福祉施設での実習となっています。



自分に「実習」ができるのか、
不安です。



そうですね。実習に行く前には、実習に必要な知識や技術についてはもちろん、書類の書き方や電話のかけ方なども勉強します。授業をしっかり受ければ、実習の準備については心配ありません。

また、実習中についても大学の教員が実習先へ訪問し、みなさんの実習の様子を見てアドバイスをしたり、悩みなどを受けとめたりするサポートを行っています。



実習では、毎日「記録」を書くと言われてい
ます。書くことが苦手ですが、どうしたら
良いのでしょうか？



実習中、毎日実習記録を書くというのは本当です。実習までに書く力が身に付くのか、不安ですね。

本学科では、入学直後から「書く」力を付けるため、課題作文などの添削指導を継続して行なっています。就職試験対策にもなり、好評です。また、実習園・施設に提出する書類の添削をはじめ、一人一人に合わせた丁寧なサポートを行なっています。しっかり学んで、繰り返し書いて、実習中に困らない「書く」力を身に付けましょう。